

バイオクライマティックデザイン小委員会 第6回 議事録

- 5 A. 日時 2006年3月7日 火曜日 18:00～21:00
- B. 場所 建築会館 301 会議室
- 10 C. 出席者 岡本幹太郎（日本設計）、黒岩哲彦（アルキテクタ都市建築設計）、小玉祐一郎（神戸芸術工科大）、宿谷昌則（武蔵工業大）、菅原正則（宮城教育大）、須永修通（首都大東京）、パノバ・ツヴェテリナ（東京工業大梅干野研）、梅干野晁（東京工業大）、横田歩（首都大東京 須永研）
：9名（敬称略、50音順）
- 15 D. 資料 6 - 0 バイオクライマティックデザイン小委員会 第6回 議事次第
6 - 1 バイオクライマティックデザイン小委員会 第5回 議事録案 / 菅原
6 - 2 2005年度小委員会活動成果報告 / 須永、斉藤
6 - 3 メール「熱シンポ・協賛の件」（2006.3.7、発信：堤純一郎先生、
20 受信：須永主査、学会事務局大野氏） / 須永
6 - 4 2006年度 熱シンポジウム マイルストーン / 須永
6 - 5 2006熱シンポ企画案 Ver.6 / 須永
- E. 審議事項
- 0) SB デザイン小委員会との合同委員会
- 25 小玉委員から標記の提案があり、須永主査と菅原委員が了承して急遽実施された。内容はSB デザイン小委員会の安田委員と豊久将三氏による話題提供で、ポーラ美術館などの建築内部空間における光の制御からみたサステナブルデザインについて示唆された。
- 1) 前回議事録確認
- 30 前回議事録案（資料6 - 1）は、承認された。
- 2) 来年度の熱シンポ企画
- 須永主査から、標記（資料6 - 4、6 - 5）について説明があった。補足内容は次の通り。
- 35 ・セッション4「ハイテクとバイオクライマティックデザイン」の講演内容候補として、
塚本由晴氏 + 貝島桃代氏：井水輻射冷房
日建設計：自然照明光ダクト
横溝真氏：富弘美術館における設備システム
を追加する。
- 40 ・学会で国際交流振興基金（総額100万円/年）があり、海外から招待する講演者の旅費に充てる
ことができる。申請数により配当額は上下する。
・3/18の熱環境運営委員会までに、日程と場所とタイトルが決められれば、今年の熱シンポ参加者
への質疑応答集とともに予告原稿を送ってもらえる。
- 45 小玉委員からテーマ設定について、亜熱帯の夏を主としてその先に夏冬両者を考慮する日本の気候風土
を見据えたものにした方がよいとの提案がなされ、この方針に沿って各セッションとも調整することにな
った。
- シンポジウムの締めくくりの「総括」はしないことになった。
- 50 講演者数は、各セッションにつき4名を原則とするが、事例紹介などの場合は多めでもよいことにな
った。

F. 次回委員会予定

日時： 4月 24日(月) 17:00～19:30

場所： 建築会館会議室

内容： 岡本委員から「日本設計の環境建築の紹介」についての話題提供、
熱シンポジウムの企画など

5

内容は次のものを順次取り上げる。

1. 鈴木(大)委員から北総研建物について
2. 環境設備で入りにくい部分についてのディスカッション(廣谷+鈴木(信)、野沢?)
3. 鈴木委員、武山委員から、OMソーラー協会本社について
4. 田中直樹氏「蓄熱材利用の混構造住宅(静戸の家:日本建築学会東北建築賞作品奨励賞)」
5. 長谷川委員から、断熱改修住宅の環境測定

10